

第2次湯梨浜町総合計画 進捗管理及び事業評価

〔重点課題〕

第2次湯梨浜町総合計画 重点課題 進行管理及び評価

施策（分野）	1. 人づくり分野
--------	-----------

重点課題	少人数学級の取り組み
指標の説明	少人数学級数
指標の考え方	特色ある教育を推進し、児童生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな指導の充実を図り、基礎学力を育みます。

指標名〔単位〕	頁	主管課	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28目標	達成率
少人数学級の取り組み	30	教育総務課	継続実施	継続実施	継続実施	—	—	—	継続して実施	—

目標に対する評価	指標の考え方に沿って少人数学級の実現を確実に実施し、児童生徒へのきめ細やかな教育実践と基礎学力の向上を目指すとともに、児童生徒を取巻く諸課題への対応に取り組んでいる。とくに小学1年生については、保育所等からの環境の変化にスムーズに対応しきれない児童が目立つことから、できるだけ早く学校生活に適応させるとともに、基本的な生活習慣の定着を図っていく必要がある。
今後の方向性	少子化の進展により児童生徒数の減少が続くものの、町として特色ある教育を積極的に推進し、きめ細やかな指導の充実を図るためにも、少人数学級の実施を継続する。

重点課題	まちづくりを創造する団体の育成
指標の説明	新分野に取り組む団体数
指標の考え方	自主的・継続的にまちづくりの創造活動を行う団体の活動を支援し、地域の活性化及び振興の中核になる人材及び団体を育成するとともに、地域の振興と住民が主体となるまちづくりの促進を図ります。

指標名〔単位〕	頁	主管課	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28目標	達成率
新分野に取り組む団体数〔団体〕	30	企画課	7	8	8	—	—	—	14	—

目標に対する評価	支援団体数は横ばいであるが、自立した団体を含めると計画どおり進んでいる。
今後の方向性	今後も幅広い分野における活動を支援し、団体数の増加を目指す。

第2次湯梨浜町総合計画 重点課題 進行管理及び評価

施策（分野）	1. 人づくり分野
--------	-----------

重点課題	生涯学習の推進
指標の説明	①町スポーツ大会延べ参加者数 ②中央公民館・分館年間利用者数 ③図書の間貸出冊数 ④人権・同和教育研修会等延べ参加者数
指標の考え方	町民一人ひとりが学習やスポーツ、文化活動に積極的に参加する環境づくりに努め、次代を担う心豊かな人が育つまちづくりを推進します。

指標名〔単位〕	頁	主管課	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28目標	達成率
町スポーツ大会延べ参加者数〔人〕	30	生涯学習・人権推進課	3,000	3,300	3,300	3,100	—	—	—	5,000	—

目標に対する評価	参加者に大きな増減もなく定着化しているが、各種競技団体主催の大会も増えており、大会や様々な行事が重なり、参加者数が伸びない傾向がある。また、1日で終わる日程で開催するため、参加人数・チーム数に限りがある。
今後の方向性	現在行っているスポーツ大会を継続して行いながら、新たな大会・行事を検討する。

指標名〔単位〕	頁	主管課	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28目標	達成率
中央公民館・分館年間利用者数〔人〕	30	中央公民館	37,000	41,851	42,045	38,589	—	—	—	40,000	—

目標に対する評価	利用者数に上下変動はあるものの、最終目標に対して、平成24年度実績は96%の達成率であり、目標達成に向けたさらなる地道な取り組みが必要である。
今後の方向性	既存の公民館事業の精査と、地域、住民ニーズに対応する公民館事業を新たに企画することにより、学習活動機会の充実を図るとともに、目標達成に努めたい。

第2次湯梨浜町総合計画 重点課題 進行管理及び評価

施策（分野）	1. 人づくり分野
--------	-----------

指標名〔単位〕	頁	主管課	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28目標	達成率
図書の年間貸出冊数〔冊〕	30	図書館	119,000	137,000	142,000	131,000	—	—	—	130,000	—

目標に対する評価	時代に即した資料収集、また、町報、ホームページなどにより利用促進を行なった。利用者からの学習要望には、他館からの相互貸借などにより対応した。その結果、平成22年度から貸出数は伸びてきている。
今後の方向性	今後も時代に対応した図書を収集提供するとともに、図書館広報及び利用者の学習に対応する資料提供に努め、利用促進を図る。

指標名〔単位〕	頁	主管課	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28目標	達成率
人権・同和教育研修会等延べ参加者数〔人〕	30	生涯学習・人権推進課	2,600	2,788	2,486	2,677	—	—	—	3,000	—

目標に対する評価	参加者数は固定化も懸念されているが、目標に対しては、過去平均と比較すると87.9%であり、一定の評価はできる。
今後の方向性	より一層の啓発と周知を図り、内容の充実と参加体制を整えながら、目標に向けた取り組みを進める。

第2次湯梨浜町総合計画 重点課題 進行管理及び評価

施策（分野）	2. 産業振興分野
--------	-----------

重点課題	自立経営農家の育成と組織化・法人化の推進
指標の説明	①基幹的担い手農家数（認定農業者） ②集落営農組織体数
指標の考え方	認定農業者を中心とする効率的かつ安定的な農業経営を営む者、その他経営意欲のある農業者が持続的に発展できるよう条件を整備し、農業経営の活性化を図ります。

指標名〔単位〕	頁	主管課	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28目標	達成率
基幹的担い手農家数（認定農業者）〔経営体〕	31	産業振興課	44	40	38	—	—	—	50	—

目標に対する評価	既存の認定農業者が高齢等を理由に認定終了となる中、新たに農業経営改善計画の認定を希望する農業者がおらず、結果として認定農業者数は減少傾向にある。
今後の方向性	農業委員会と連携し、経営規模拡大意向のある農業者等に働きかけを行い、農業経営改善計画の作成支援を行う。

指標名〔単位〕	頁	主管課	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28目標	達成率
集落営農組織体数〔組織〕	31	産業振興課	5	5	5	—	—	—	7	—

目標に対する評価	集落営農組織の前身となる機械利用組合を平成23年度までに2組織立ち上げたものの、集落営農組織化には至っていない。
今後の方向性	機械利用組合のうち、集落営農組織化の意向がある組合を抽出して組織化に向けた支援を行うとともに、既存の集落営農組織の法人化を促進し、体質強化を図る。

第2次湯梨浜町総合計画 重点課題 進行管理及び評価

施策（分野）	2. 産業振興分野
--------	-----------

重点課題	遊休農地及び耕作放棄地対策
指標の説明	耕作放棄地面積
指標の考え方	遊休農地及び耕作放棄地の解消のため、農業生産の基盤である農地の確保や有効利用を図っていく必要があります。そのため、直面する様々な課題を踏まえながら、再生利用に向けた取り組みを推進します。 ※耕作放棄地の増加率を10%以内に抑制するための目標を設定する。

指標名〔単位〕	頁	主管課	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28目標	達成率
耕作放棄地面積〔ha〕	31	産業振興課	64.95	69.97	69.09	—	—	—	71.45	—

目標に対する評価	補助事業の活用等による耕作放棄地の再生利用を推進するとともに、農業委員会による農地の利用調整等を行い、新たな耕作放棄地の発生抑制を図っている。
今後の方向性	今後も同様の手法により、耕作放棄地の解消及び発生抑制を図る。

第2次湯梨浜町総合計画 重点課題 進行管理及び評価

施策（分野）	3. 環境共生分野
--------	-----------

重点課題	温室効果ガスの削減
指標の説明	公共施設の温室効果ガス削減
指標の考え方	公共施設における温室効果ガスCO ₂ を削減するため、「湯梨浜町地球温暖化防止実行計画」を策定し、その実現に努めます。また、各家庭においては環境家計簿の普及を図り、脱温暖化を目指します。 ※現在の排出量を5%削減

指標名〔単位〕	頁	主管課	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28目標	達成率
公共施設の温室効果ガス〔kg-CO ₂ 〕	32	町民課	2,480,811	2,035,243	未集計	—	—	—	2,356,770	—

目標に対する評価	暖房を重油から電気に移行したことなどにより、すでに目標達成となっている。
今後の方向性	公共施設については、目標達成となっているものの、引き続き温室効果ガス削減の取り組みを推進する。また、各家庭に対しても、啓発等を充実していくよう努める。

重点課題	生ごみの減量化と循環型社会の形成
指標の説明	生ごみの減量化と循環型社会の形成
指標の考え方	家庭、旅館等から排出される生ごみの分別収集を徹底し、町内企業が展開する肥料・飼料化への事業へ供給する体制を確立するとともに、生ごみの減量化に努めます。

指標名〔単位〕	頁	主管課	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28目標	達成率
焼却処理量〔t〕	32	町民課	1,953	1,959	1,943	—	—	—	5%削減	—

目標に対する評価	平成24年度実績では、22年度に対して若干減少してきている。しかしながら、目標に向かって順調に推移しているとは言えない。
今後の方向性	引き続き、生ごみの減量化を推進するため、町報などあらゆる媒体を活用しながら、分別の徹底と生ごみ液肥の活用について啓発に努める。

第2次湯梨浜町総合計画 重点課題 進行管理及び評価

施策（分野）	4. 健康づくり分野
--------	------------

重点課題	健康づくり推進
指標の説明	①特定健診受診率 ②特定保健指導率（フォロー率） ③大腸がん検診受診率 ④大腸がん検診精密受診率（フォロー率）
指標の考え方	健康診査及び各種がん検診の実施体制を充実させ、適正受診を促進するとともに、検診後のフォローを最重視し、町民一人ひとりの健康づくりの意欲向上と自己管理意識を高めます。

指標名〔単位〕	頁	主管課	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28目標	達成率
特定健診受診率〔%〕	33	健康推進課	25.3	26.6	25.9	26.5	—	—	—	65	—

目標に対する評価	初年度より横ばいで推移、「特定健診」が浸透しきれていない。
今後の方向性	広報を工夫するとともに、農協、漁協、商工会等との連携強化を図り、受診率向上を目指す。

数値の説明	平成24年度の数値は、現在の見込み数値である。10月の法定報告時に確定する。
-------	--

指標名〔単位〕	頁	主管課	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28目標	達成率
特定保健指導率（フォロー率）〔%〕	33	健康推進課	30.4	47.7	39.3	—	—	—	—	45	—

目標に対する評価	平成22年度は目標達成できたが、翌年度実施率がダウンした。
今後の方向性	支援対象者に対する粘り強い勧奨に努め、実施率向上を目指す。

数値の説明	平成24年度実績は、平成25年8月以降に判明する。
-------	---------------------------

第2次湯梨浜町総合計画 重点課題 進行管理及び評価

施策（分野）	4. 健康づくり分野
--------	------------

指標名〔単位〕	頁	主管課	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28目標	達成率
大腸がん検診受診率〔%〕	33	健康推進課	22.9	29.1	28.4	33.9	—	—	—	50	—

目標に対する評価	平成23年度から平成24年度にかけて5ポイント以上向上したが、目標には届いていない。
今後の方向性	地区健康教室などを通じての啓発活動により一層努力する。

指標名〔単位〕	頁	主管課	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28目標	達成率
大腸がん検診精密受診率（フォロー率）〔%〕	33	健康推進課	77.3	77.7	81.7	73.2	—	—	—	100	—

目標に対する評価	精密検査の受診勧奨は直接面会して実施しているが、面会できない方もあり、受診率は100%には達していない。
今後の方向性	医療機関で治療中の方もあり、全員受診は困難かもしれないが、引き続き受診勧奨に努める。平成25年度は、がん経験者の体験談を広報ゆりはまに掲載予定。

数値の説明	平成24年度実績は、平成25年4月現在の数値である。最終実績は、6月頃判明する。
-------	--

第2次湯梨浜町総合計画 重点課題 進行管理及び評価

施策（分野）	4. 健康づくり分野
--------	------------

重点課題	介護予防事業の取り組み
指標の説明	①要介護認定率 ②65歳平均自立期間
指標の考え方	高齢化が進行する中、介護保険制度を持続的、安定的に運営していくためには、お年寄りが要介護状態とならないように、また、介護度が今よりも重度化しないように、引き続き介護予防事業に重点的に取り組みます。

指標名〔単位〕	頁	主管課	H22.12末実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28.3末目標	達成率
要介護認定率〔%〕	33	長寿福祉課	18.07	18.32	18.78	—	—	—	18.07	—

目標に対する評価	例年3月に、65歳以上の高齢者に対して、予防支援のための基本調査である生活機能調査を実施し、その回答率も95%以上である。この調査の回答を踏まえ、筋力向上トレーニング事業及び日常生活関連動作訓練事業、温泉トレーニング事業の介護予防事業サービスを行っている。また、平成24年度から卒業者筋力トレーニング事業を追加し、介護予防体制の拡充を図ることで利用者も増え、「予防」に対する意識の浸透が図られてきている。
今後の方向性	①今後も65歳以上の高齢者に対して、生活機能調査(基本チェックリスト)を実施し、介護予防が必要な高齢者をスクリーニングしていく。 ②調査の回答を基に、介護予防が必要な高齢者に対して、筋力向上トレーニング事業及び日常生活関連動作訓練事業、温泉トレーニング事業を提供していく。 ③全町民に対して、介護予防に対する知識を普及啓発する場を設けていく。

第2次湯梨浜町総合計画 重点課題 進行管理及び評価

施策（分野）	4. 健康づくり分野
--------	------------

指標名〔単位〕	頁	主管課	H19.10 実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28目標	達成率
65歳平均自立期間（男性） 〔年〕	33	長寿福祉課	16.32	17.19	—	—	—	—	—	16.66	—
65歳平均自立期間（女性） 〔年〕	33	長寿福祉課	20.86	21.65	—	—	—	—	—	20.90	—

目標に対する評価	要介護認定に係る評価同様、介護予防支援として、筋力トレーニング事業（週1回、週2回、卒業筋トレ）をはじめ、日常生活関連動作訓練事業、温泉トレーニング事業、認知症サポーター養成講座、いきいきサロン等を実施した結果、男性の自立期間は、平成22年度実績において平成28年目標数値を0.53ポイント、女性は0.75ポイント上回っている。
今後の方向性	継続して各種介護予防事業を推進するとともに、PDCAサイクルを活用した事業検証を行い、関係機関との連携を図りながら、自立期間が長くなるような施策を展開する。

第2次湯梨浜町総合計画 重点課題 進行管理及び評価

施策（分野）	4. 健康づくり分野
--------	------------

重点課題	母子保健事業の推進
指標の説明	乳幼児健診受診・指導率
指標の考え方	健診回数を増やすとともに、1回に要する健診時間の短縮を図るなど、保護者の負担軽減と受診率の向上に努めています。引き続き乳幼児の健康の保持増進を図るため、母子保健事業の推進に努めます。

指標名〔単位〕	頁	主管課	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28目標	達成率
乳幼児健診受診・指導率〔%〕	34	子育て支援課	99.4	97.0	97.0	—	—	—	100	—

目標に対する評価	健診1回あたりの受診対象者の調整を図り、健診時間の短縮を図ることができた。また、未受診者に対しては、通知、訪問、電話などで受診勧奨し、受診率向上に努めた。
今後の方向性	今後も、受診対象者の人数調整を図るとともに、健診時間を短縮するなど、保護者の負担軽減に努める。また、未受診者に対しては、通知、訪問、電話などで受診勧奨し、受診率100%を目指す。

第2次湯梨浜町総合計画 重点課題 進行管理及び評価

施策（分野）	5. 地域づくり分野
--------	------------

重点課題	安心・安全な道路整備
指標の説明	改良が必要となっている道路の改良率
指標の考え方	生活に密着した道路の安心・安全を利用者の立場で確保するため、拡幅整備等を推進します。

指標名〔単位〕	頁	主管課	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28目標	達成率
改良が必要となっている道路の改良率〔%〕	34	建設水道課	79.3	79.4	79.5	—	—	—	80.0	—

目標に対する評価	道路拡幅・改良など、概ね計画どおりの事業進捗が図れ、安心・安全な道路整備に寄与することができた。
今後の方向性	社会資本整備総合交付金事業により、計画的に道路の拡幅・改良を実施していきます。

重点課題	行政改革の推進
指標の説明	改革プランの推進
指標の考え方	事務事業の整理合理化や民間委託の推進など、町行政改革大綱に基づく改革プランの実施について、着実に取り組みます。

指標名〔単位〕	頁	主管課	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28目標	達成率
改革プランの推進	34	総務課	計画策定	計画実施	計画実施	—	—	—	計画どおりの実施	—

目標に対する評価	平成23年度からスタートした第二次行政改革大綱及び同実施計画〔集中改革プラン（平成23年度～27年度）〕の推進に努めた。
今後の方向性	平成24年度に町行政改革推進委員会委員の任期を1年から2年として計画の継続性を図り、引き続き集中改革プランの推進に努める。

第2次湯梨浜町総合計画 重点課題 進行管理及び評価

施策（分野）	5. 地域づくり分野
--------	------------

重点課題	防災に強い地域づくり対策
指標の説明	自主防災組織等数
指標の考え方	災害及び災害が発生した時、一人では何もできなくても、地域の人々が協力すれば大きな力となることから、地域の人々が自発的に防災活動を行う自主防災組織等の確立と組織強化を目指します。

指標名〔単位〕	頁	主管課	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28目標	達成率
自主防災組織等数〔数〕	34	総務課	56	56	56	—	—	—	組織数の増加	—

目標に対する評価	新組織の立ち上げはなかった。しかし、各自主防災組織及び各区は、防災訓練等を年間通して行い、組織の充実強化を図っている。
今後の方向性	未組織地区の自主防災組織の立ち上げ促進を行うとともに、引き続き防災訓練等の実施など、取り組みを推進する。

第2次湯梨浜町総合計画 重点課題 進行管理及び評価

施策（分野）	6. 東郷湖活性化分野
--------	-------------

重点課題	東郷湖活性化プロジェクト推進〔環境分野〕
指標の説明	東郷池の水質（COD）
指標の考え方	東郷池を「昔の美しい姿に」 地域住民の生活に密着していた頃の東郷池に戻すために、水質浄化に向けた取り組みを推進します。

指標名〔単位〕	頁	主管課	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28目標	達成率
東郷池の水質（COD） 〔mg/l〕	35	町民課	5.5	5.5	5.3	6.1	—	—	—	4.5	—

目標に対する評価	CODは5.5mg/l前後で推移していたが、平成24年度は高温少雨等の影響もあり、悪化が顕著であった。
今後の方向性	気象条件、海水面の上昇など、厳しい状況が今後も続くと推測されるが、県や住民との連携により、引き続き水質の浄化対策に取り組んでいく。

重点課題	東郷湖活性化プロジェクト推進〔観光分野〕
指標の説明	観光人口（宿泊客）
指標の考え方	東郷池を「観光振興の拠点に」 風光明媚な東郷池周辺に観光客を誘致するために、観光振興に向けた取り組みを推進します。

指標名〔単位〕	頁	主管課	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28目標	達成率
観光人口（宿泊客）〔人〕	35	産業振興課	148,049	159,227	160,871	165,950	—	—	—	200,000	—

目標に対する評価	他の温泉地が集客に苦戦する中、宿泊が増加傾向にあることは、関係団体の取り組みが奏功した結果であると評価できる。
今後の方向性	旅館組合や観光協会、商工会の取り組みを連携させ、東郷池を中心とした湯梨浜の魅力向上に努めていく。

第2次湯梨浜町総合計画 重点課題 進行管理及び評価

施策（分野）	6. 東郷湖活性化分野
--------	-------------

重点課題	東郷湖活性化プロジェクト推進〔産業分野〕
指標の説明	シジミの漁獲量（水質浄化の効果も持ち合わせているため、安定した漁獲量を設定）
指標の考え方	東郷池の周辺環境を活かした「農林水産業の振興を」 東郷池からの水産物やその周辺の農産物のブランド化、販路拡大、遊休農地等を活用した新産業を創出するために、農林水産業振興に向けた取り組みを推進します。

指標名〔単位〕	頁	主管課	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28目標	達成率
シジミの漁獲量〔t〕	35	産業振興課	218.4	179.8	134.2	108.3	—	—	—	200	—

目標に対する評価	平成21年以降、漁獲量は減少している。明確な原因はわかっておらず、想定される東郷池内の酸素量の減少が考えられている。
今後の方向性	東郷湖漁協（漁民）、県（水産課、栽培漁業センター、農政課）、町で現在の実態を理解し、今後の対策を話し合い、それぞれの役割で実践に向かう方針である。

重点課題	東郷湖活性化プロジェクト推進〔資源分野〕
指標の説明	事業目標値（参加者数、ボランティア数、関係団体数等）
指標の考え方	東郷池周辺の「地域資源を磨き次の世代への継承を」 東郷池周辺に点在する歴史資源を再認識して磨き上げ、次の世代に引き継ぐために、地域資源の整備と活性化に向けた取り組みを推進します。

指標名〔単位〕	頁	主管課	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28目標	達成率
事業目標値〔%〕	35	企画課	—	—	—	—	—	—	—	90	—

目標に対する評価	個別事業における事業目標値を設定し、それぞれの目標に対する達成状況を別途進捗管理している。
今後の方向性	引き続き、個別事業における事業目標値の達成へ向け、推進を図っていく。